



東京圏に転入した若年者の 「働き方」に関する意識調査

－ 結果の概要 －

2015年10月



目次

●調査概要	3
●回答者属性	4
●[1]現在の仕事を選ぶにあたって重視したこと	6
●[2]地元の就職先を選ばなかった理由	7
●[3]地元の就職先にもっていたイメージ	8
●[4]地元で暮らすことのイメージ	10
●[5]地元に戻って仕事をするための条件・環境	12
●[6]「希望する仕事なかったから」東京圏に就職した人、「地元で希望する仕事はあったが採用されなかった」から東京圏に就職した人の特徴	14
●予備調査 調査票	17
●本調査 調査票	21

調査概要

- 調査目的 : 本調査は、人口減少に関する今後の対応策の検討の参考とするため、地方から東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)に転入した若年層(男女)が、現在の仕事に就いた時、地元の就職先にどのようなイメージをもっていたか等を把握することを目的としている。
- 調査方法 : インターネット調査
- 調査設計 : インターネットのモニターのうち、以下のすべての要件に該当する方々を対象とした。

●20歳代・30歳代 男女

●東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、名古屋圏(岐阜県、愛知県、三重県)、大阪圏(京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)を除く各道県出身の方

●自分自身の進学もしくは就職・起業をきっかけに東京圏に移り住んだ方(会社都合の転勤や家族都合を除く)

●現在、東京圏に居住して仕事をしている方(パートタイムを含む)

●最終学歴が高等専門学校、短期大学、大学、大学院、専門学校のいずれかに該当する方

■総務省「人口推計」のH26年の都道府県別人口、年齢別人口をもとに、地域別・年代別に割付

●調査期間 : 2015年6月5日 - 2015年6月8日

●有効回答数: 2,453人

北海道・東北: 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
北関東・北陸: 茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、福井県
中部・近畿: 山梨県、長野県、静岡県、滋賀県、和歌山県
中国・四国: 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄: 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

<有効回答者数内訳>					
			男性	女性	
北海道・東北			266	294	中国・四国
20-24	1	0			238
25-29	74	90			207
30-34	96	94			20
35-39	95	110			19
北関東・北陸					25-29
20-24	0	1			39
25-29	62	74			56
30-34	87	78			69
35-39	87	97			63
中部・近畿					35-39
20-24	0	0			111
25-29	47	58			63
30-34	73	66			207
35-39	65	79			258
九州・沖縄					316
20-24	0	1			258
25-29	62	74			3
30-34	87	78			15
35-39	87	97			73
中国・四国					107
20-24	0	1			91
25-29	62	74			79
30-34	87	78			
35-39	87	97			

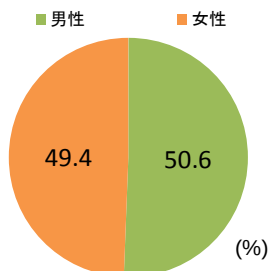
<調査結果に関する留意点>

- 図表中の百分率を表す数値は小数点以下第2位を四捨五入したものであり、合計と内訳の和が合わないことがあり得る。
- 文章中いくつかの項目を合わせて分析を行っている箇所や差を見ている箇所については、図表との関係を踏まえて、四捨五入後の百分率の数値を用いて加減等を行った数値を表示している。

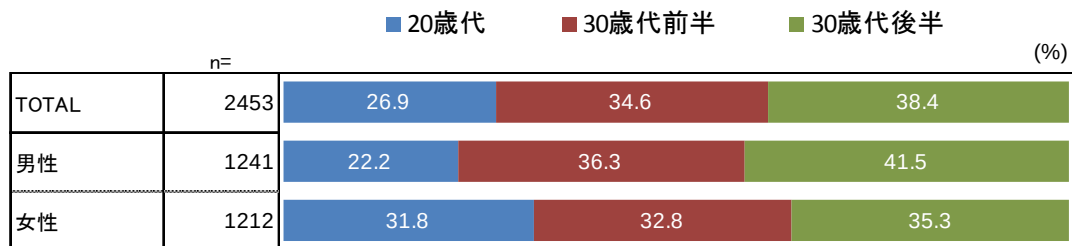
回答者属性①

- 回答者の属性は以下の通りである。回答者のうち、半数強(56.6%)は現在「結婚していない」。また、子どもは「いない」人が7割以上(73.1%)。

【性別】

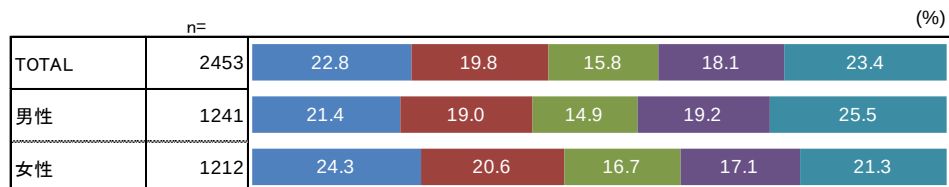


【年代】



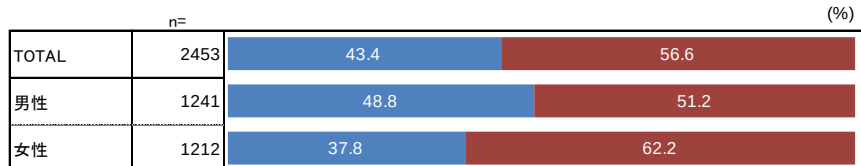
【高校卒業時点の居住地】

■北海道・東北 ■北関東・北陸 ■中部・近畿 ■中国・四国 ■九州・沖縄



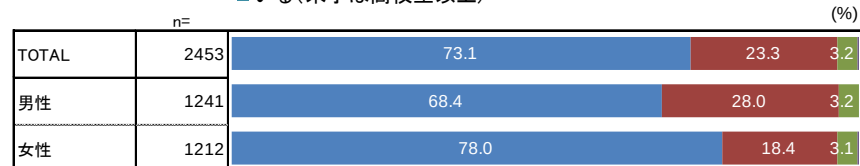
【婚姻状況】

■結婚している ■結婚していない



【子どもの有無と末子年齢】

■いない ■いる(末子は乳幼児・未就学児)
■いる(末子は小学生) ■いる(末子は中学生)
■いる(末子は高校生以上)



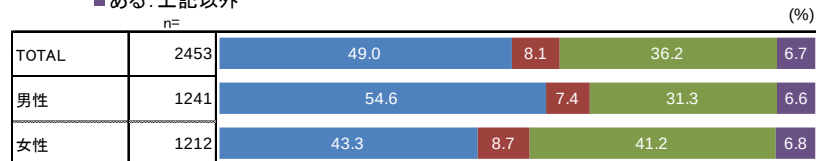
※末子中学生以上は1%未満のため省略

回答者属性②

- 回答者の半数(51.0%)は転職経験があり、女性でその傾向が高い。現在の職種では、男性は「専門・技術職(システム設計者、通信ネットワーク技術者等)」が最も多く、女性は「事務職(庶務、秘書等)」が最も多い。回答者の半数弱(45.4%)は従業員規模500人以上の会社に勤めているが、初めての就職の時点で従業員規模について「希望はなかった」人は半数近く(45.9%)である。

【転職経験】

- ない
- ある: 最初の就職では地元(高校卒業時点で住んでいた地域)に就職した後、転職した
- ある: 最初の就職では一都三県(東京・埼玉・千葉・神奈川)に就職した後、転職した
- ある: 上記以外



【現在の職種】

※10%以上に濃い網掛け、5%以上10%未満に薄い網掛け

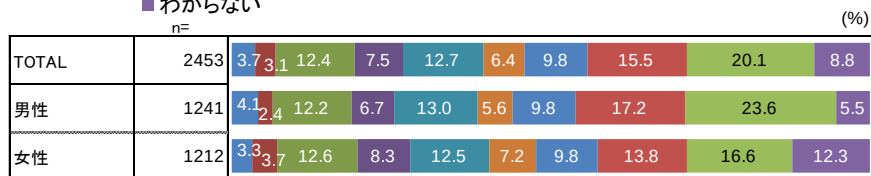
	TOTAL	男性	女性
管理職(法人・団体等の役員 等)	1.8	3.0	0.6
専門・技術職(自然科学系研究者 等)	1.3	1.9	0.8
専門・技術職(人文・社会科学系等研究者 等)	0.5	0.5	0.5
専門・技術職(設計 等)	3.3	6.0	0.5
専門・技術職(製造技術開発 等)	3.9	6.0	1.7
専門・技術職(建築技術開発 等)	0.6	1.0	0.1
専門・技術職(システム設計者、通信ネットワーク技術者 等)	12.4	20.0	4.6
専門・技術職(医師、歯科医師 等)	1.8	1.3	2.3
専門・技術職(保健師・看護師、社会福祉専門職 等)	8.6	3.5	13.8
専門・技術職(弁護士、税理士 等)	1.0	1.5	0.5
専門・技術職(コンサルタント 等)	1.1	1.9	0.2
専門・技術職(幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員 等)	3.5	2.8	4.3
事務職(庶務、秘書 等)	9.9	2.7	17.2
事務職(企画、マーケティング、広報 等)	5.4	5.0	5.8
事務職(法務、会計 等)	5.9	4.9	6.8
商品販売、営業職	10.1	10.5	9.7
サービス(看護助手、介護職員など家庭生活支援サービス従業者 等)	1.4	1.1	1.7
サービス(調理、給仕などの飲食関係 等)	3.1	2.0	4.1
国家公務員	2.4	3.3	1.6
地方公務員	4.4	5.5	3.2
その他	17.8	15.7	20.0

【希望していた職種】

	TOTAL	男性	女性
管理職(法人・団体等の役員 等)	1.1	1.8	0.3
専門・技術職(自然科学系研究者 等)	2.4	3.2	1.6
専門・技術職(人文・社会科学系等研究者 等)	0.7	0.8	0.5
専門・技術職(設計 等)	3.3	5.6	1.0
専門・技術職(製造技術開発 等)	4.0	6.4	1.7
専門・技術職(建築技術開発 等)	0.6	1.0	0.2
専門・技術職(システム設計者、通信ネットワーク技術者 等)	9.8	15.9	3.6
専門・技術職(医師、歯科医師 等)	1.8	1.5	2.0
専門・技術職(保健師・看護師、社会福祉専門職 等)	8.2	3.1	13.4
専門・技術職(弁護士、税理士 等)	0.9	1.6	0.1
専門・技術職(コンサルタント 等)	1.3	2.2	0.4
専門・技術職(幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員 等)	3.7	2.5	4.9
事務職(庶務、秘書 等)	7.1	1.3	13.0
事務職(企画、マーケティング、広報 等)	6.6	5.9	7.3
事務職(法務、会計 等)	4.5	3.5	5.5
商品販売、営業職	6.4	7.5	5.4
サービス(看護助手、介護職員など家庭生活支援サービス従業者 等)	0.9	0.8	1.1
サービス(調理、給仕などの飲食関係 等)	2.1	1.5	2.7
国家公務員	2.5	3.2	1.8
地方公務員	6.0	7.5	4.4
その他	12.3	9.1	15.6
希望はなかった	13.9	14.0	13.7

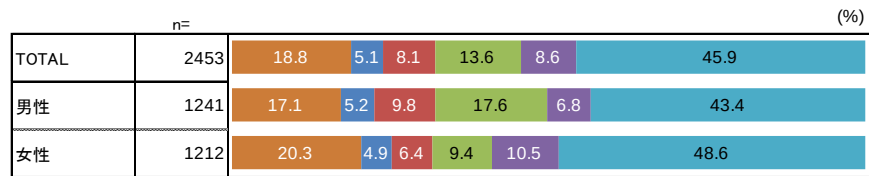
【現在の勤め先の従業員規模】

- 5人未満
- 5人以上10人未満
- 10人以上50人未満
- 50人以上100人未満
- 100人以上300人未満
- 300人以上500人未満
- 500人以上1,000人未満
- 1,000人以上5,000人未満
- 5,000人以上
- わからない



【希望していた会社の従業員規模】

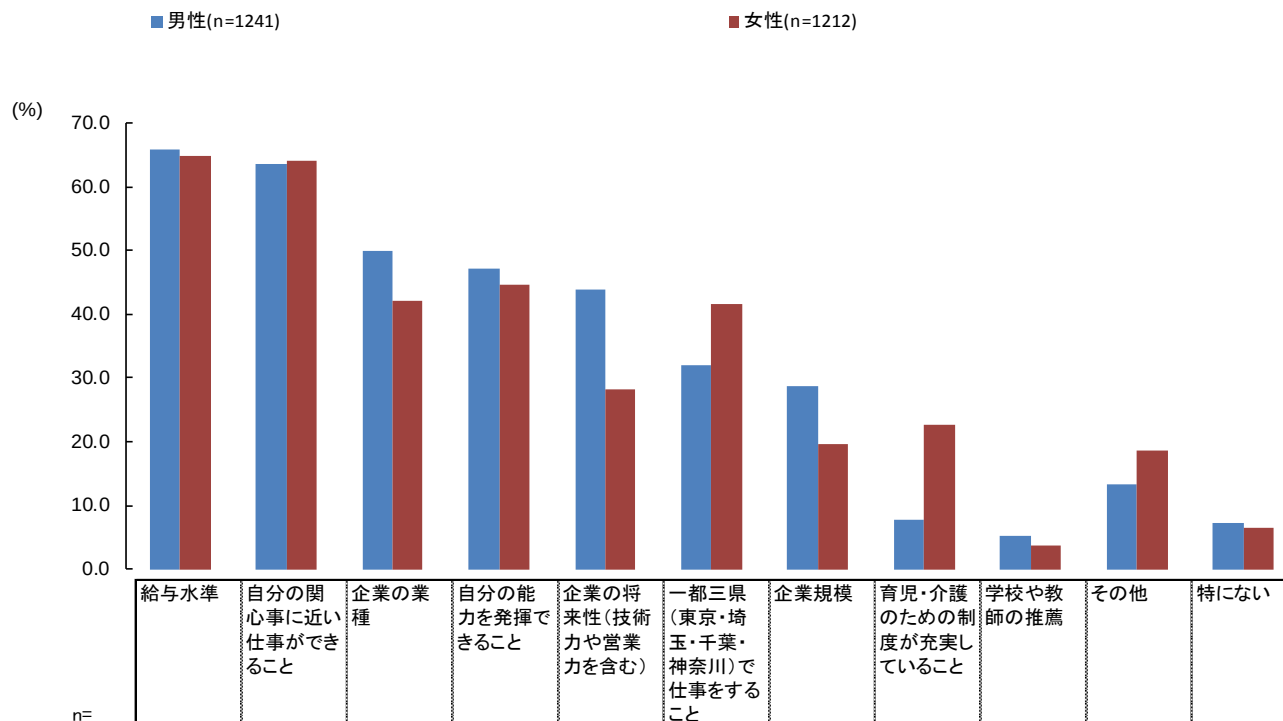
- 500人未満
- 500人以上1,000人未満
- 1,000人以上5,000人未満
- 5,000人以上
- わからない
- 希望はなかった



[1]現在の仕事を選ぶにあたって重視したこと

現在の仕事を選ぶにあたって、あなたが重視したことは何ですか。(複数回答)

- 男女ともに「給与水準」「自分の関心事に近い仕事ができること」を挙げた人の割合が6割を超えている。
- 男性は「企業の業種」「自分の能力を発揮できること」「企業の将来性」と続くが、女性は「自分の能力を発揮できること」「一都三県で仕事をする事」「企業の業種」「一都三県で仕事をする事」と続く。
- また、男女の差を見ると、「企業の将来性」で15.6ポイント、「企業規模」で9.0ポイント女性より男性が高く、逆に「育児・介護のための制度が充実していること」で14.9ポイント「一都三県で仕事をする事」で9.5ポイント男性より女性が高くなっている。

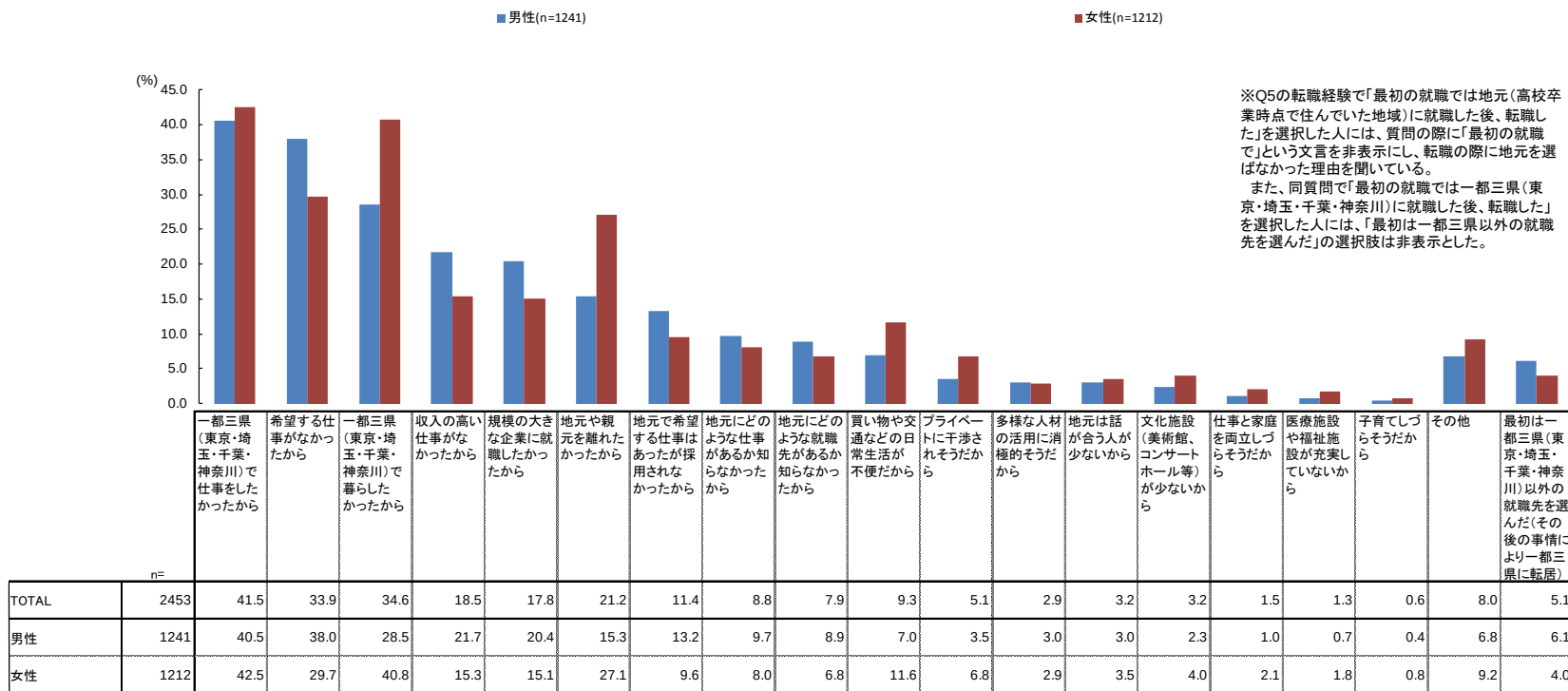


	n=	給与水準	自分の関心事に近い仕事ができること	企業の業種	自分の能力を発揮できること	企業の将来性(技術力や営業力を含む)	一都三県(東京・埼玉・千葉・神奈川)で仕事すること	企業規模	育児・介護のための制度が充実していること	学校や教師の推薦	その他	特になし
TOTAL	2453	65.3	63.8	46.1	45.9	36.1	36.8	24.2	15.0	4.6	16.0	6.8
男性	1241	65.8	63.5	50.0	47.3	43.8	32.1	28.6	7.7	5.3	13.4	7.2
女性	1212	64.9	64.2	42.2	44.6	28.2	41.6	19.6	22.6	3.8	18.7	6.4

[2]地元の就職先を選ばなかった理由

あなたが最初の就職で地元(高校卒業時点で住んでいた地域)の就職先を選ばなかった理由は何ですか。(最大3つまで複数回答)

- 地元の就職先を選ばなかった理由として、男女ともに「一都三県で仕事をしたかったから」を選んだ人の割合が最も高く4割を超えている(男性40.5%、女性42.5%)。
- 男性は次いで「希望する仕事があったから」「一都三県で暮らしたかったから」「収入の高い仕事があったから」と続くが、女性は「一都三県で暮らしたかったから」「希望する仕事があったから」「地元や親元を離れたかったから」と続く。
- また、男女の差を見ると、「希望する仕事があったから」で8.3ポイント、「収入の高い仕事があったから」で6.4ポイント、「規模の大きな企業に就職したかったから」で5.3ポイント女性より男性が高く、逆に「一都三県で暮らしたかったから」で12.3ポイント、「地元や親元を離れたかったから」で11.8ポイント、「買い物や交通などの日常生活が不便だから」で4.6ポイント男性より女性が高くなっている。



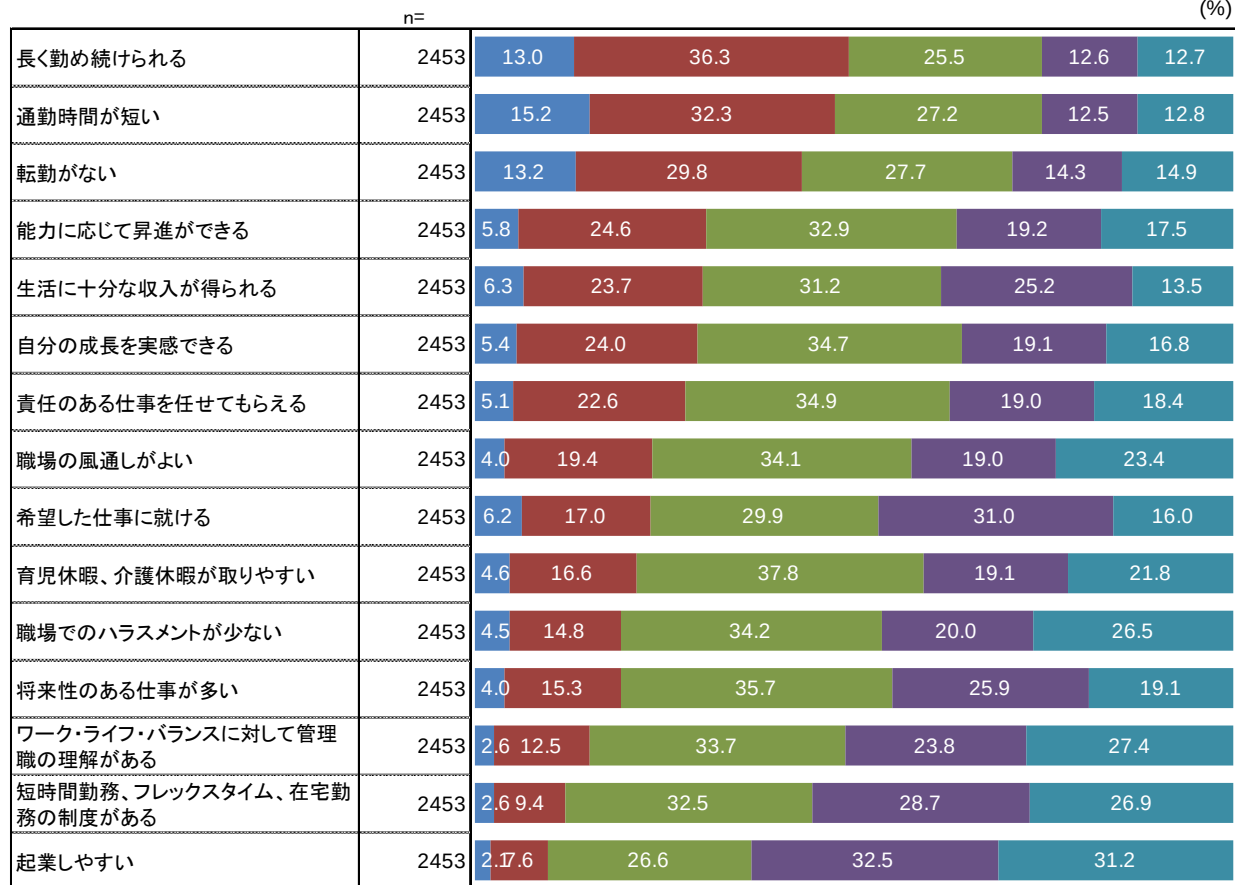
[3] 地元の就職先にもっていたイメージ

現在の仕事に就いた時、あなたが「地元(高校卒業時点で住んでいた地域)の就職先にもっていたイメージ」はどのようなものでしたか。それぞれについてどの程度のイメージであったかお答えください。(回答は1つ)

- 15項目にわたって「地元の就職先にもっていたイメージ」を尋ねたところ、『長く勤め続けられる』『通勤時間が短い』『転勤がない』と思っていた(「そう思っていた」と「ややそう思っていた」の計)人の割合が4割を超えている。
- 一方で『希望した仕事に就ける』『将来性のある仕事が多い』『短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務の制度がある』など12項目では、思っていなかった(「あまりそうは思っていなかった」と「そうは思っていなかった」の計)人の割合が5割を超えている。

■ そう思っていた ■ ややそう思っていた ■ あまりそうは思っていなかった ■ そうは思っていなかった ■ そのようなイメージを考えなかった (%)

【TOTAL】



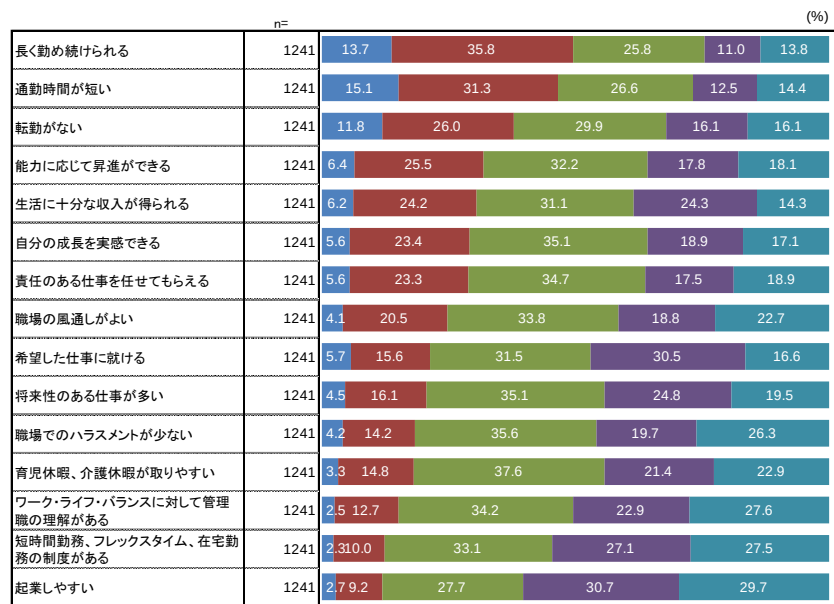
[3]地元の就職先にもっていたイメージ

現在の仕事に就いた時、あなたが「地元(高校卒業時点で住んでいた地域)の就職先にもっていたイメージ」はどのようなものでしたか。それぞれについてどの程度のイメージであったかお答えください。(回答は1つ)

- 男女別にみても、『長く勤め続けられる』『通勤時間が短い』は、男女ともにそう思っていたとする割合が高いが、『転勤がない』については、男性ではそうは思っていなかったとする割合が高く、女性ではそう思っていたとする割合が高くなっている。
- また、他の12項目については、男女ともにそうは思っていなかったとする割合が高くなっているが、例えば、男性では『能力に応じて昇進ができる』と思っていた割合が女性よりもやや高い一方、女性では『育児休暇、介護休暇が取りやすい』と思っていた割合が男性よりもやや高いなどの相違がみられる。

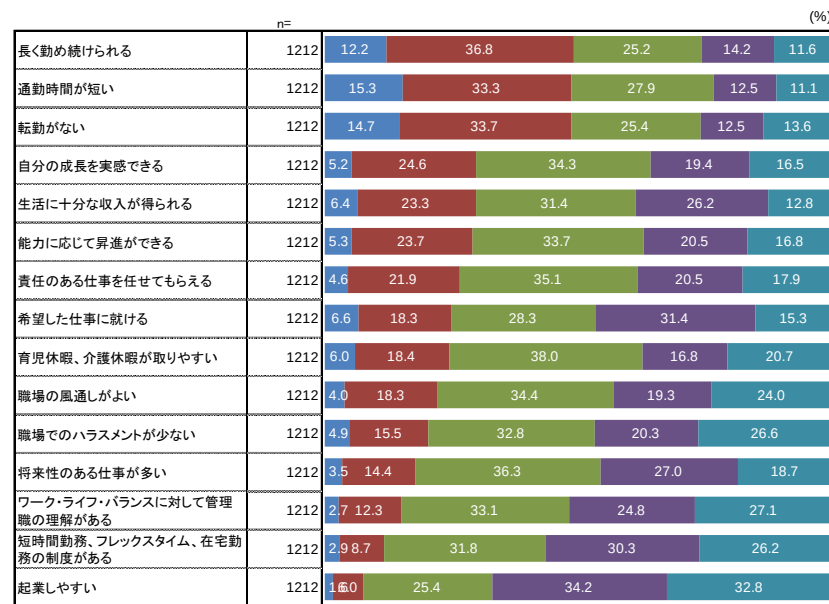
【男性】

■そう思っていた ■ややそう思っていた ■あまりそうは思っていなかった ■そうは思っていなかった ■そのようなイメージを考えなかった



【女性】

■そう思っていた ■ややそう思っていた ■あまりそうは思っていなかった ■そうは思っていなかった ■そのようなイメージを考えなかった



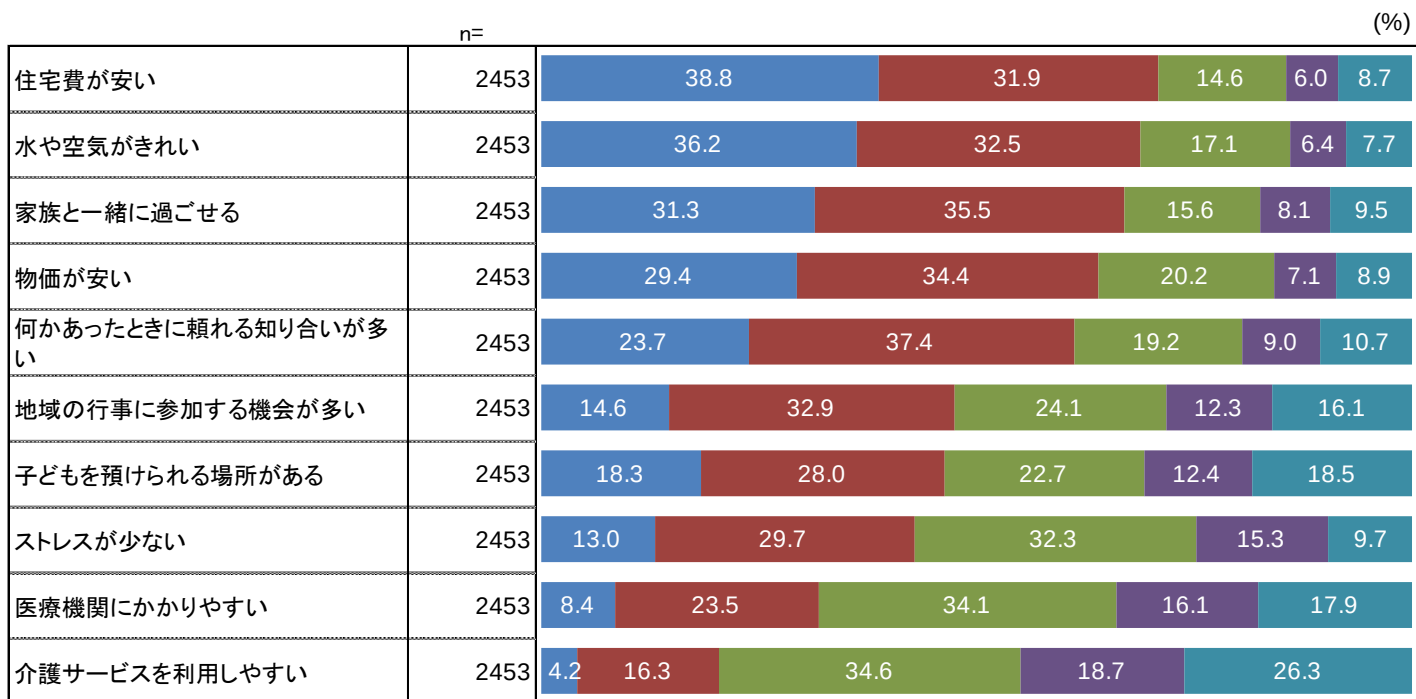
[4]地元で暮らすことのイメージ

現在の仕事に就いた時、あなたにとって「地元(高校卒業時点で住んでいた地域)で暮らすことのイメージ」はどのようなものでしたか。それぞれについてどの程度のイメージであったかお答えください。(回答は1つ)

- 10項目にわたって地元で暮らすことのイメージを尋ねたところ、『住宅費が安い』『水や空気がきれい』『家族と一緒に過ごせる』『物価が安い』『何かあったときに頼れる知り合いが多い』と思っていた(「そう思っていた」と「ややそう思っていた」の計)人の割合が多く、6割を超えている。
- 一方で『介護サービスを利用しやすい』『医療機関にかかりやすい』『ストレスが少ない』については、そうは思っていなかった(「あまりそうは思っていなかった」と「そうは思っていなかった」の計)人の割合が多くなっている。

【TOTAL】

■ そう思っていた ■ ややそう思っていた ■ あまりそうは思っていなかった ■ そうは思っていなかった ■ そのようなイメージを考えなかった



[4]地元で暮らすことのイメージ

現在の仕事に就いた時、あなたにとって「地元(高校卒業時点で住んでいた地域)で暮らすことのイメージ」はどのようなものでしたか。それぞれについてどの程度のイメージであったかお答えください。(回答は1つ)

- 男女別にみても、『住宅費が安い』『水や空気がきれい』『家族と一緒に過ごせる』『物価が安い』『何かあったときに頼れる知り合いが多い』と思っていたとする割合が高く、『介護サービスが利用しやすい』『医療機関にかかりやすい』『ストレスが少ない』とは思っていなかったとする割合が高いことは、男女に共通。
- 男性に比べて女性では『子どもを預けられる場所がある』と思っていた人の割合が高くなっているなどの相違もみられる。

【男性】

■ そう思っていた ■ ややそう思っていた ■ あまりそうは思っていなかった ■ そうは思っていなかった ■ そのようなイメージを考えなかった

	n=	(%)
住宅費が安い	1241	35.5 31.3 17.2 6.3 9.8
水や空気がきれい	1241	33.4 32.4 19.1 6.0 9.2
家族と一緒に過ごせる	1241	28.0 35.9 18.9 7.4 9.8
物価が安い	1241	26.5 32.2 23.5 8.1 9.7
何かあったときに頼れる知り合いが多い	1241	20.1 37.1 21.7 9.7 11.5
地域の行事に参加する機会が多い	1241	14.3 33.6 24.7 11.4 16.0
ストレスが少ない	1241	13.2 30.8 31.7 14.1 10.2
子どもを預けられる場所がある	1241	14.8 25.5 26.4 12.7 20.5
医療機関にかかりやすい	1241	7.2 21.8 35.0 16.9 19.2
介護サービスを利用しやすい	1241	4.0 16.0 35.9 18.6 25.5

【女性】

■ そう思っていた ■ ややそう思っていた ■ あまりそうは思っていなかった ■ そうは思っていなかった ■ そのようなイメージを考えなかった

	n=	(%)
住宅費が安い	1212	42.2 32.6 12.0 5.7 7.5
水や空気がきれい	1212	39.2 32.7 15.1 6.8 6.2
家族と一緒に過ごせる	1212	34.7 35.1 12.3 8.7 9.2
物価が安い	1212	32.3 36.6 16.7 6.1 8.2
何かあったときに頼れる知り合いが多い	1212	27.5 37.8 16.6 8.3 9.9
子どもを預けられる場所がある	1212	21.8 30.7 19.0 12.1 16.4
地域の行事に参加する機会が多い	1212	14.9 32.3 23.5 13.1 16.2
ストレスが少ない	1212	12.8 28.5 32.9 16.6 9.2
医療機関にかかりやすい	1212	9.7 25.2 33.2 15.3 16.6
介護サービスを利用しやすい	1212	4.3 16.7 33.2 18.8 27.1

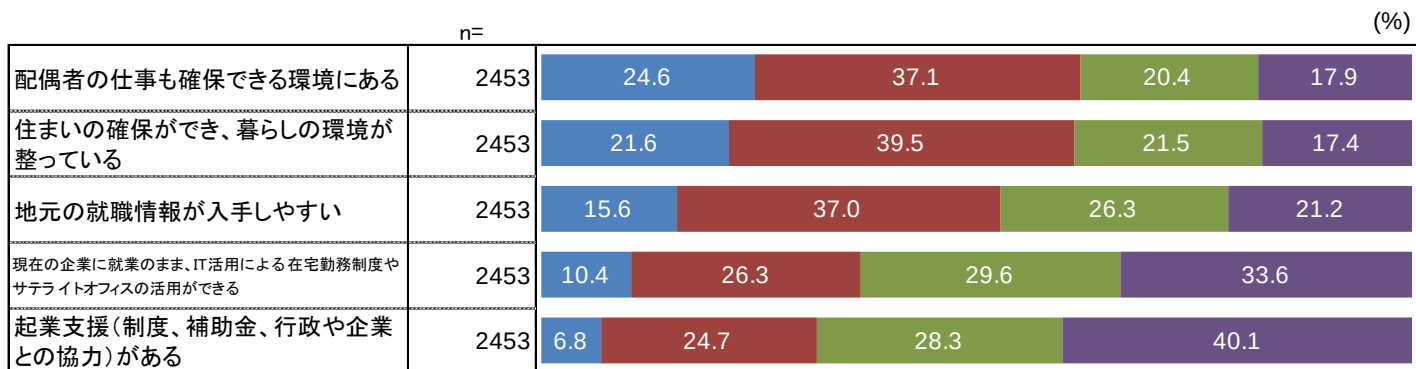
[5]地元に戻って仕事をすることを検討するための条件・環境

今後、どのような条件・環境が整えば、地元(高校卒業時点で住んでいた地域)に戻って仕事をするかを検討しようと思いますか。以下の項目のそれぞれについて、もっともあてはまる程度をお答えください。(回答は1つ)

- 地元に戻って仕事をするかを検討するための条件・環境を尋ねたところ、『配偶者の仕事も確保できる環境にある』『住まいの確保ができ、暮らしの環境が整っている』『地元の就職情報が入手しやすい』が検討材料になる(「とても前向きな検討材料になる」と「前向きな検討材料になる」の計)と回答した人の割合が5割を超えている。
- 一方で『起業支援(制度、補助金、行政や企業との協力)がある』については、『前向きな検討材料にはならない』と回答した人の割合が約4割となっている。

【TOTAL】

■ とても前向きな検討材料になる ■ 前向きな検討材料になる ■ 前向きな検討材料になるかもしれない ■ 前向きな検討材料にはならない



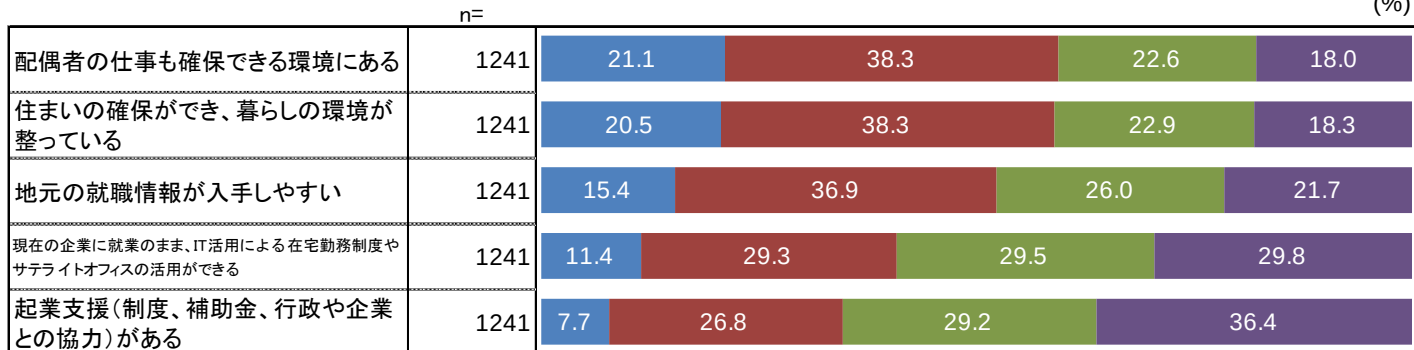
[5]地元に戻って仕事をすることを検討するための条件・環境

今後、どのような条件・環境が整えば、地元(高校卒業時点で住んでいた地域)に戻って仕事をすることを検討しようと思いますか。以下の項目のそれぞれについて、もっともあてはまる程度をお答えください。(回答は1つ)

- 男女別にみても、『配偶者の仕事も確保できる環境にある』『住まいの確保ができ、暮らしの環境が整っている』『地元の就職情報が入手しやすい』ことが検討材料になるとするのは、男女に共通。
- 男性に比べて女性では『配偶者の仕事も確保できる環境にある』『住まいの確保ができ、暮らしの環境が整っている』ことが地元に戻るための検討材料になると回答した人の割合が高くなっている。
- 一方で、男性では女性に比べて『現在の企業に就業のまま、IT活用による在宅勤務制度やサテライトオフィスの活用ができる』『起業支援(制度、補助金、行政や企業との協力)がある』ことが検討材料になると回答した人の割合がやや高くなっている。

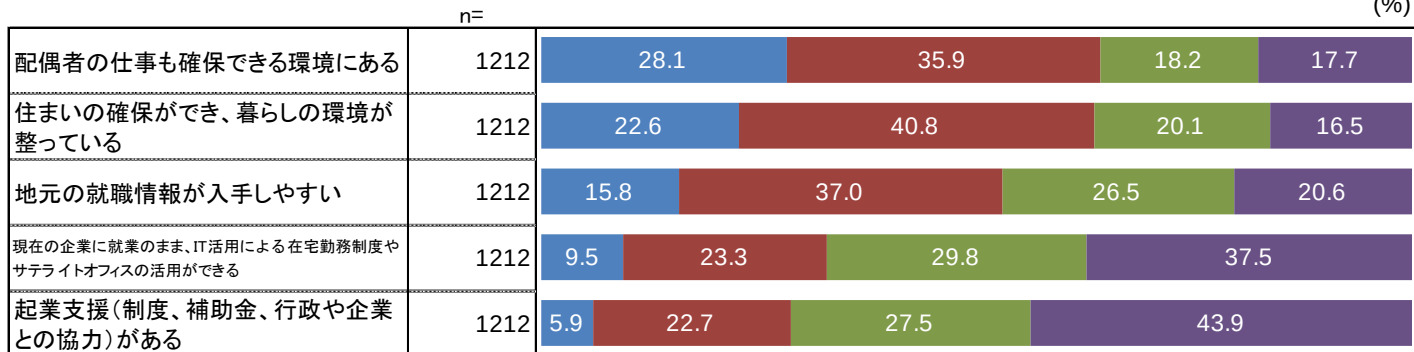
■ とても前向きな検討材料になる ■ 前向きな検討材料になる ■ 前向きな検討材料になるかもしれない ■ 前向きな検討材料にはならない (%)

【男性】



■ とても前向きな検討材料になる ■ 前向きな検討材料になる ■ 前向きな検討材料になるかもしれない ■ 前向きな検討材料にはならない (%)

【女性】

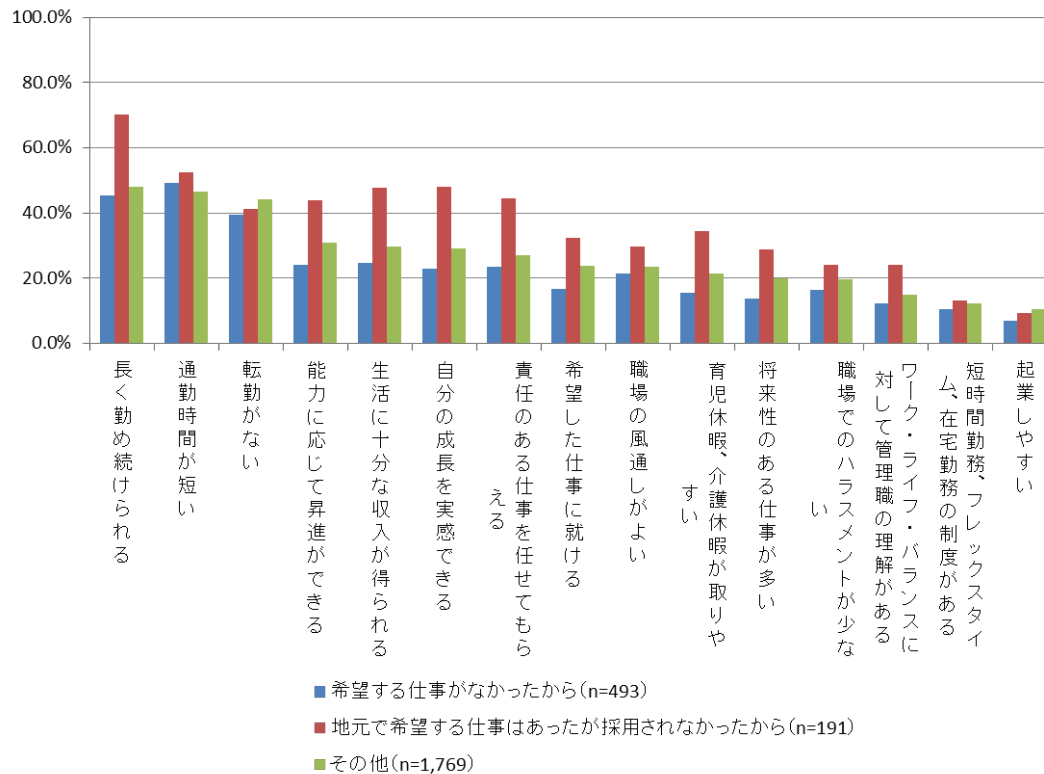


[6] 「希望する仕事がなかったから」東京圏に就職した人、「地元で希望する仕事はあったが採用されなかった」から東京圏に就職した人の特徴

「あなたが最初の就職で地元の就職先を選ばなかった理由は何ですか」の1位回答として、「希望する仕事がなかったから」「地元で希望する仕事はあったが採用されなかったから」をそれぞれ選んだ方と、その他の方との比較

①現在の仕事に就いた時、あなたが「地元の就職先にもっていたイメージ」はどのようなものでしたか。

- 「そう思っていた」と「ややそう思っていた」の計をみると、『希望する仕事がなかったから』と回答した人では、「能力に応じて昇進ができる」「自分の成長を実感できる」「希望した仕事に就ける」「育児休暇、介護休暇が取りやすい」「将来性のある仕事が多い」と思っていた割合がやや低くなっている。
- 一方、『地元で希望する仕事はあったが採用されなかったから』と回答した人では、地元で就職することに対して「長く勤め続けられる」「能力に応じて昇進ができる」「生活に十分な収入が得られる」「自分の成長を実感できる」「責任のある仕事を任せてもらえる」「希望した仕事に就ける」「育児休暇、介護休暇が取りやすい」「将来性のある仕事が多い」「ワーク・ライフ・バランスに対して管理職の理解がある」といった割合が高く、地元の企業をかなり肯定的にとらえていたと考えられる。

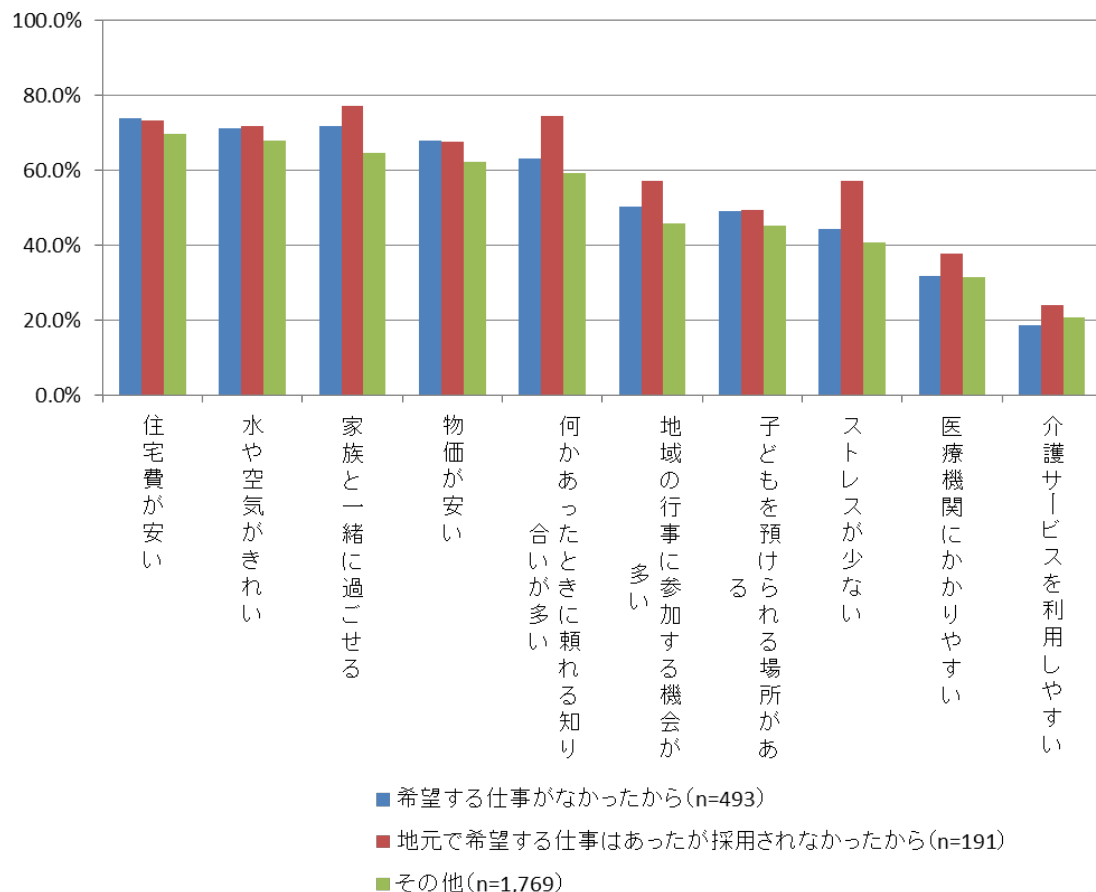


[6]「希望する仕事がなかったから」東京圏に就職した人、「地元で希望する仕事はあったが採用されなかった」から東京圏に就職した人の特徴

「あなたが最初の就職で地元の就職先を選ばなかった理由は何ですか」の1位回答として、「希望する仕事がなかったから」「地元で希望する仕事はあったが採用されなかったから」をそれぞれ選んだ方と、その他の方との比較

②現在の仕事に就いた時、あなたにとって「地元で暮らすことのイメージ」はどのようなものでしたか。

- 「そう思っていた」と「ややそう思っていた」の計を見てみると、『地元で希望する仕事はあったが採用されなかったから』と回答した人は「家族と一緒に過ごせる」「何かあったときに頼れる知り合いが多い」「地域の行事に参加する機会が多い」「ストレスが少ない」と思っていた割合がやや高くなっている。

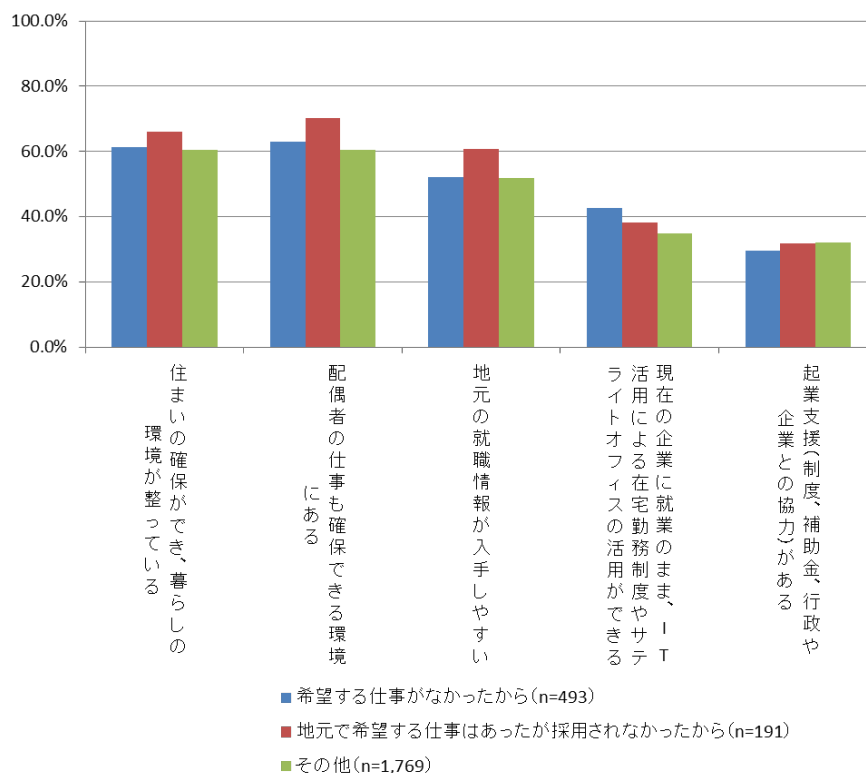


[6]「希望する仕事がなかったから」東京圏に就職した人、「地元で希望する仕事はあったが採用されなかった」から東京圏に就職した人の特徴

「あなたが最初の就職で地元の就職先を選ばなかった理由は何ですか」の1位回答として、「希望する仕事なかったから」「地元で希望する仕事はあったが採用されなかったから」をそれぞれ選んだ方と、その他の方との比較

③今後、どのような条件・環境を整えれば、地元に戻って仕事をすることを検討しようと思いますか。

- 「とても前向きな検討材料になる」と「前向きな検討材料になる」の計を見てみると、『希望する仕事なかったから』と回答した人では「現在の企業に就職のまま、IT活用による在宅勤務制度やサテライトオフィスの活用ができる」ことが検討材料になると答えた割合がやや高くなっている。
- 一方、『地元で希望する仕事はあったが採用されなかったから』と回答した人では「配偶者の仕事も確保できる環境にある」「地元の就職情報が入手しやすい」ことが前向きな検討材料になると答えた割合がやや高くなっている。



暮らしに関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についてお伺いする場合があります。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q1 あなたの性別をお答えください。

〈回答は1つ〉

☐ 男性

☐ 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

才

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q3 あなたの最終学歴(卒業した最も高い学歴)としてあてはまるものをお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 中学校
- ☐ 高等学校
- ☐ 高等専門学校
- ☐ 短期大学
- ☐ 大学
- ☐ 大学院
- ☐ 専門学校
- ☐ その他
- ☐ 答えたくない

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q4 現在、お住まいの都道府県をお答えください。

(回答は1つ)

下記の中から選びください ↓

※47都道府県をプルダウンの中から選択

次のページ

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q5 あなたが高校と最終学歴(卒業した最も高い学歴)を卒業する際にお住まいだった都道府県はどちらになりますか。それぞれお答えください。

(回答は1つ)

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県
高校卒業時点	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
最終学歴(卒業した最も高い学歴)卒業時点	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

この質問は、現在一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川）にお住いの方にお尋ねします。

Q6 あなたが、一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川）に移り住んだきっかけとして最もあてはまるものをお選びください。

（回答は1つ）

- ☐ 自分自身の進学
- ☐ 自分自身の就職・起業
- ☐ 会社都合の転勤
- ☐ 家族の都合
- ☐ その他

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q7 現在のあなたの就業状況としてあてはまるものをお選びください。複数の仕事をしている方は主なものをお答えください。

（回答は1つ）

- ☐ フルタイムの正規雇用
- ☐ フルタイムの非正規雇用
- ☐ パートタイム（週40時間未満）の正規雇用
- ☐ パートタイム（週40時間未満）の非正規雇用
- ☐ 経営者・役員
- ☐ 自営業
- ☐ 学生
- ☐ 専業主婦・主夫
- ☐ 無職
- ☐ その他

終了

働き方に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは、先日ご協力いただいた「暮らしに関するアンケート」で「現在、一都三県(東京・埼玉・千葉・神奈川)に住んでいる」とお答えの方にお送りしています。
アンケートであなたご自身やあなたのご家族についてお伺いする場合があります。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

開始

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q1 あなたの性別をお答えください。

〈回答は1つ〉

☐ 男性

☐ 女性

Q2 あなたの年齢をお答えください。

〈回答は半角数字で入力〉

才

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q3 あなたは現在ご結婚されていますか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 結婚している
- ☐ 結婚していない

Q4 お子さんはいますか。

〈回答は1つ〉

- ☐ いない
- ☐ いる（末子は乳幼児・未就学児）
- ☐ いる（末子は小学生）
- ☐ いる（末子は中学生）
- ☐ いる（末子は高校生以上）

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q5 あなたは転職されたご経験はありますか。経験のある方はケースとしてあてはまるものをお選びください。

〈回答は1つ〉

- ☐ ない
- ☐ ある：最初の就職では地元（高校卒業時点で住んでいた地域）に就職した後、転職した
- ☐ ある：最初の就職では一都三県（東京・埼玉・千葉・神奈川）に就職した後、転職した
- ☐ ある：上記以外

次のページ

0% 100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q6 あなたの現在の仕事として最もあてはまるものをお選びください(複数の仕事をしている方は主なものをお答えください)。また、就職活動の際に最も希望していた仕事についてもお答えください。

(回答は1つ)

	管理職 (法人・団体等の役員等)	専門・技術職 (自然科学系研究者等)	専門・技術職 (人文・社会科学系研究者等)	専門・技術職 (設計等)	専門・技術職 (製造技術開発等)	専門・技術職 (建築技術開発等)	専門・技術職 (システム設計者、通信ネットワーク技術者等)	専門・技術職 (医師、歯科医師等)	専門・技術職 (保健師、看護師、福祉士等)	専門・技術職 (弁護士、税理士等)	専門・技術職 (コンサルタント等)	専門・技術職 (幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の教員等)	事務職 (庶務、秘書等)	事務職 (企画、マーケティング、広報等)	事務職 (法務、会計等)	商品販売、営業職	サービス (看護助手、介護職員など家庭生活支援サービス従業者等)	サービス (調理、給仕などの飲食関係等)	国家公務員	地方公務員	その他	希望はなかった
現在の仕事	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	--
就職活動の際に最も希望していた仕事	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

0% 100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q7 現在の会社の従業員規模をお答えください。また、就職活動の際に最も希望していた会社の規模についてもお答えください。

(回答は1つ)

	5人未満	5人以上10人未満	10人以上50人未満	50人以上100人未満	100人以上300人未満	300人以上500人未満	500人以上1,000人未満	1,000人以上5,000人未満	5,000人以上	わからない	希望はなかった
現在お勤めの会社全体の規模(自営業の方はその会社の規模)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	--
就職活動時に最も希望していた会社全体の規模	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q8 現在の仕事を選ぶにあたって、あなたが重視したことは何ですか。1位～3位までと4位以下をお選びください。

	企業の業種	企業規模	企業の将来性(技術力や営業力を含む)	一都三県(東京・埼玉・千葉・神奈川)で仕事すること	自分の関心事に近い仕事ができること	自分の能力を発揮できること	給与水準	育児・介護のための制度が充実していること	学校や教師の推薦	その他	特になし
1位 (回答は1つ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
2位 (回答は1つ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
3位 (回答は1つ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
4位以下 (回答はいくつでも)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q9 あなたが最初の就職で地元(高校卒業時点で住んでいた地域)の就職先を選ばなかった理由は何ですか。1位～3位の順でお答えください。

(回答は1つ)

※「戻る」ボタンから上位の順位を修正できます。

Q9 あなたが地元(高校卒業時点で住んでいた地域)の就職先を選ばなかった理由は何ですか。1位～3位の順でお答えください。

(回答は1つ)

※「戻る」ボタンから上位の順位を修正できます。

	一都三 県(東 京・埼 玉・千 葉・神 奈川) で仕事 をした かった から	一都三 県(東 京・埼 玉・千 葉・神 奈川) で暮ら したか ったか ら	希望す る仕事 がなか ったか ら	地元で 希望す る仕事 はあっ たが採 用され なかつ たから	地元で どのよ うな仕 事があ るか知 らなかつ たから	規模の 大きな 企業に 就職し たから	収入の 高い仕 事がな かった から	多様な 人材の 活用が しなかつ たから	仕事と 家庭を 両立し づらそ うだか ら	子育て しづら そうだ から	買い物 や交通 などの 日常生 活が不 便だか ら	文化施 設(美 術館、 コンサ ートホ ール等) が少な いから	医療施 設や福 祉施設 が充実 してい ないか ら	地元や 親元を 離れた から	プライ ベート に干渉 されそ うだか ら	地元は 話が合 う人が 少ない から	地元で どのよ うな就 職先が あるか 知らな かった から	その他 具 体的に:	最初は一 都三県 (東京・ 埼玉・ 千葉・ 神奈川) 以外の 就職先 を選ん だ(その 後の事 情によ り一都 三県に 転居)	これ以 上理由 はない	
1位	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	--
2位	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	☐
3位	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		☐	☐

次のページ

※Q5の転職経験で「最初の就職では地元(高校卒業時点で住んでいた地域)に就職した後、転職した」を選択した人には、質問の際に「最初の就職で」という文言を非表示にし、転職の際に地元を選ばなかった理由を聞いている。
また、同質問で「最初の就職では一都三県(東京・埼玉・千葉・神奈川)に就職した後、転職した」を選択した人には、「最初は一都三県以外の就職先を選んだ」の選択肢は非表示とした。

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q10

現在の仕事に就いた時、あなたが「**地元**（高校卒業時点で住んでいた地域）の就職先にもっていたイメージ」はどのようなものでしたか。それぞれについてどの程度のイメージであったかお答えください。

（回答は1つ）

	そう思っていた	やや そう思っていた	あまりそうは 思っていなかった	そうは 思っていなかった	そのようなイ メージを 考えなかった
希望した仕事に就ける	☐	☐	☐	☐	☐
責任のある仕事を任せてもらえる	☐	☐	☐	☐	☐
能力に応じて昇進ができる	☐	☐	☐	☐	☐
自分の成長を実感できる	☐	☐	☐	☐	☐
生活に十分な収入が得られる	☐	☐	☐	☐	☐
長く勤め続けられる	☐	☐	☐	☐	☐
通勤時間が短い	☐	☐	☐	☐	☐
転勤がない	☐	☐	☐	☐	☐
育児休暇、介護休暇が取りやすい	☐	☐	☐	☐	☐
短時間勤務、フレックスタイム、在宅勤務の制度がある	☐	☐	☐	☐	☐
ワーク・ライフ・バランスに対して管理職の理解がある	☐	☐	☐	☐	☐
職場でのハラスメントが少ない	☐	☐	☐	☐	☐
職場の風通しがよい	☐	☐	☐	☐	☐
将来性のある仕事が多い	☐	☐	☐	☐	☐
起業しやすい	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q11

現在の仕事に就いた時、あなたにとって「**地元**(高校卒業時点で住んでいた地域)で暮らすことのイメージ」はどのようなものでしたか。それぞれについてどの程度のイメージであったかお答えください。

(回答は1つ)

	そう思っていた	ややそう思っていた	あまりそうは思っていなかった	そうは思っていなかった	そのようなイメージを考えなかった
水や空気がきれい	☐	☐	☐	☐	☐
ストレスが少ない	☐	☐	☐	☐	☐
家族と一緒に過ごせる	☐	☐	☐	☐	☐
子どもを預けられる場所がある	☐	☐	☐	☐	☐
医療機関にかかりやすい	☐	☐	☐	☐	☐
介護サービスを利用しやすい	☐	☐	☐	☐	☐
何かあったときに頼れる知り合いが多い	☐	☐	☐	☐	☐
地域の行事に参加する機会が多い	☐	☐	☐	☐	☐
住宅費が安い	☐	☐	☐	☐	☐
物価が安い	☐	☐	☐	☐	☐

次のページ

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q12

今後、どのような条件・環境が整えば、地元(高校卒業時点で住んでいた地域)に戻って仕事をすることを検討しようと思いますか。以下の項目のそれぞれについて、もっともあてはまる程度をお答えください。

(回答は1つ)

	とても 前向きな検討 材料になる	前向きな検討 材料になる	前向きな検討 材料に なるかもしれ ない	前向きな検討 材料には ならない
起業支援(制度、補助金、行政や企業との協力)がある	☐	☐	☐	☐
現在の企業に就業のまま、IT活用による在宅勤務制度やサテライトオフィスの活用ができる	☐	☐	☐	☐
住まいの確保ができ、暮らしの環境が整っている	☐	☐	☐	☐
配偶者の仕事も確保できる環境にある	☐	☐	☐	☐
地元の就職情報が入手しやすい	☐	☐	☐	☐

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q13 あなたが地元(高校卒業時点で住んでいた地域)に戻って仕事をするを検討するうえで、重要だと思うことがあれば教えてください。

〈回答は具体的に〉

次のページ

0%  100%

※ このアンケートは、前のページに戻ることができません。ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。

Q14 あなたが高校を卒業する際にお住まいだったところは、以下のいずれにあてはまりますか。

〈回答は1つ〉

☐ 県庁所在地

☐ その他の市

☐ 町・村

終了